

令和4年度実施事業及び令和5年度新規事業
金融庁

令和5年度行政事業レビュー事業単位整理表兼点検結果の令和6年度予算概算要求への反映状況調表

Table with columns for Policy Area, Measure, Item, Fiscal Year, Status, and Budget. It details various financial and administrative measures across different policy areas like 'Basic Policy I: Stability and Efficiency of the Financial System' and 'Basic Policy II: Protection of Users and Improvement of Service Quality'.

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	令和4年度補正決予算額	令和4年度執行可能額	令和4年度執行額	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見			令和5年度当初予算額	令和6年度要申請額	差引き B-A=C	反映額	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号			令和5年度外部有識者事後評価	令和5年度外部有識者事後評価として理由	直近の外部有識者事後評価年度	委託補助調査等	基金					
										評価結果	所定の概要	反映内容					令和4年度レビューシート番号																		
																	1つ目	2つ目					3つ目	3つ目を超える場合は											
		018	サステナビリティ開示の強制度の調査等・人的資本に関する国際的な開示ルールの策定の推進	令和4年度	終了予定なし	130	130	113	○長期アウトカムについて、本事業の成果をより詳細に検証できるよう、可能な限り具体的に記載してはどうか。 ○本事業については、効果的な予算執行の観点から、コスト削減に努めていくこととするが、令和6年度においては、Fintechやデータなどの領域でのFinTech、MaaSの推進等により結果の増加が見込まれることから、前年比1.1倍以内の増減となる予算要求を行っている。	20	21	1	現状通り	○長期アウトカムについてより適切な目標設定ができるか検討する。 ○本事業については、効果的な予算執行の観点から、コスト削減に努めていくこととするが、令和6年度においては、Fintechやデータなどの領域でのFinTech、MaaSの推進等により結果の増加が見込まれることから、前年比1.1倍以内の増減となる予算要求を行っている。	重要政策推進枠: 21.5百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	新22 - 0003 -	-	-	-	書面点検	前年度新規	○									
		019	採掘規制関係経費	平成17年度	終了予定なし	4	4	-	○本事業の経費は、被害者の権利を確保するために必要なものであり、予算執行が生じる場合には適切に行っていたきたい。 ○引き続き、関連に際しては、競争性の確保に努め、経費削減を図っていくこと。	4	4	-	現状通り	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 21.5百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0011	-	-	-	書面点検	その他	平成30年度									
施策III-3 金融取引のグローバル化、複雑化、高度化に対応した市場監視機能の強化																																			
		020	市場の公正確保のための経費	平成12年度	終了予定なし	13	13	13	○当該事業に必要な情報と監視の手法について、更に改善する取組みを継続していくこと。 ○執行実績等も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう調査すること。	15	16	1	現状通り	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 33百万円	証券取引等監視委員会事務局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0010	-	-	-	-	-	-	-	令和4年度							
横断的施策																																			
横断的施策-1 デジタルを前提とした新たな社会をもたらす環境変化を踏まえた戦略的対応																																			
		021	金融デジタルイノベーション関連経費	平成30年度	終了予定なし	69	82	70	○本事業は、金融行政の効能性と効率性向上にとって重要であるものと認められるので、確実に進めていただきたい。 ○長期アウトカムについて、本事業の目的に照らし、より適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設計に困難な場合は、定性的に記載することも考えられる。	62	91	29	-	現状通り	○長期アウトカムについてより適切な目標設定ができるか検討する。 ○本事業については、効果的な予算執行の観点からコスト削減に努めていくこととするが、令和6年度においては、Fintechやデータなどの領域でのFinTech、MaaSの推進等により結果の増加が見込まれることから、前年比1.1倍以内の増減となる予算要求を行っている。	重要政策推進枠: 91.1百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0019	-	-	-	-	書面点検	その他	令和元年度	○						
		022	アカデミアとの連携強化	令和2年度	終了予定なし	12	12	4	○政策的価値や目標・指標の設定等について、「実証実験」及び「作成支援」の定章を踏まえていくかの観点から検討を行った。 ○本事業にあたっては、これまでの実績も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう調査すること。	9	7	▲2	▲2	縮減	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 21.1百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0020	-	-	-	-	-	-	令和3年度							
横断的施策-2 サステナブルファイナンスの推進																																			
		023	サステナブルファイナンス推進に必要な経費	令和4年度	終了予定なし	29	30	28	○本事業の長期アウトカムについて、サステナブルファイナンスの推進に関する経費の効果を測定できるように適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設計に困難な場合は、定性的に記載することも考えられる。	4	33	29	-	現状通り	○長期アウトカムについてより適切な目標設定ができるか検討する。 ○本事業については、効果的な予算執行の観点からコスト削減に努めていくこととするが、令和6年度においては、Fintechやデータなどの領域でのFinTech、MaaSの推進等により結果の増加が見込まれることから、前年比1.1倍以内の増減となる予算要求を行っている。	重要政策推進枠: 33百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	新22 - 0002 -	-	-	-	-	書面点検	前年度新規								
		024	気候変動リスクをはじめとする新たなリスクへの対応に必要な経費	令和2年度	終了予定なし	20	28	28	○引き続き、効果的な事業を行うこと。 ○一帯一帯となった契約については、次回以降も引き続き競争性を確保するための効果的な方策を行うなど、引き続き予算執行における経費削減に努めること。	14	21	7	-	現状通り	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 21.1百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0024	-	-	-	-	-	-	令和3年度							
横断的施策-3 業務継続体制の確立と災害・サイバーセキュリティへの対応																																			
		025	金融分野におけるサイバーセキュリティ対策向上	平成27年度	終了予定なし	95	85	75	○引き続き、関連に際しては、競争性の確保に努め、経費削減を図っていくこと。 ○本事業の長期アウトカムについて、本事業の目的に照らし、より適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設計に困難な場合は、定性的に記載することも考えられる。	91	118	27	-	現状通り	○引き続き、関連に際しては、競争性の確保に努め、経費削減を図っていくこと。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 98.9百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0018	-	-	-	-	-	-	令和3年度	○						
		026	自然災害による被災者の債務整理支援	平成28年度	終了予定なし	110	124	108	○引き続き、関連に際しては、競争性の確保に努め、経費削減を図っていくこと。 ○本事業の長期アウトカムについて、本事業の目的に照らし、より適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設計に困難な場合は、定性的に記載することも考えられる。	97	85	▲12	-	現状通り	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 22.8百万円	監督局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0021	-	-	-	-	-	-	令和4年度	○						
横断的施策-4 その他の横断的施策																																			
		027	マネー・ローディング及び預金貸付対策向上に必要な経費	令和4年度	終了予定なし	648	53	53	○本事業は、社会的意義があるものと認められるので、確実に進めていただきたい。 ○本事業のアウトカム及びアウトプットについては、基礎的な指標を設定し、効果的な事業を行うこととするが、令和6年度においては、Fintechやデータなどの領域でのFinTech、MaaSの推進等により結果の増加が見込まれることから、前年比1.1倍以内の増減となる予算要求を行っている。	-	23	23	▲6	縮減	○長期アウトカムについてより適切な目標設定ができるか検討する。 ○本事業については、効果的な予算執行の観点からコスト削減に努めていくこととするが、令和6年度においては、Fintechやデータなどの領域でのFinTech、MaaSの推進等により結果の増加が見込まれることから、前年比1.1倍以内の増減となる予算要求を行っている。	重要政策推進枠: 22.8百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	新22 - 0001 -	-	-	-	-	-	-	書面点検	前年度新規						
		028	アジア諸国等との金融連携・協力に必要な経費	平成23年度	終了予定なし	131	132	80	○本事業の長期アウトカムについて、本事業の目的に照らし、より適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設計に困難な場合は、定性的に記載することも考えられる。 ○本事業にあたっては、これまでの実績も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう調査すること。 ○一帯一帯となった契約については、次回以降も引き続き競争性を確保するための効果的な方策を行うなど、引き続き予算執行における経費削減に努めること。	112	144	32	-	現状通り	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 87.4百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0023	-	-	-	-	-	-	令和2年度							
		029	金融グローバル戦略の確立に必要な経費	令和4年度	令和5年度	18	-	-	○最終した予算について、引き続き競争性の確保に努め、経費削減を図っていくこと。 ○本事業の長期アウトカムについて、本事業の目的に照らし、より適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設計に困難な場合は、定性的に記載することも考えられる。	-	-	-	-	予定通り終了	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 87.4百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	新22 0010	-	-	-	-	-	前年度新規								
		030	新興国に対する技術協力に必要な経費	平成14年度	終了予定なし	191	191	184	○引き続き、関連に際しては、競争性の確保に努め、経費削減を図っていくこと。 ○本事業の長期アウトカムについて、本事業の目的に照らし、より適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設計に困難な場合は、定性的に記載することも考えられる。	200	209	9	-	現状通り	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 87.4百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	21 0022	-	-	-	-	-	-	令和2年度							
		新23-001	IAIS会合開催に必要な経費	令和5年度	令和5年度	-	-	-	○最終した予算について、引き続き競争性の確保に努め、経費削減を図っていくこと。 ○本事業の長期アウトカムについて、本事業の目的に照らし、より適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設計に困難な場合は、定性的に記載することも考えられる。	50	-	▲50	-	予定通り終了	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 87.4百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	新23 - 0005 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
いずれの政策・施策にも関連しないもの																																			
		031	OECDが行うG20/OECDコーポレートガバナンス原則改訂に伴うロードマップ策定作業に必要な経費	令和4年度	終了予定なし	30	30	30	○長期アウトカムについて、本事業の成果をより詳細に検証できるよう、可能な限り具体的に記載してはどうか。 ○本事業については、効果的な予算執行の観点から、コスト削減に努めていくこととするが、令和6年度においては、Fintechやデータなどの領域でのFinTech、MaaSの推進等により結果の増加が見込まれることから、前年比1.1倍以内の増減となる予算要求を行っている。	31	31	-	-	現状通り	○長期アウトカムについてより適切な目標設定ができるか検討する。 ○本事業については、効果的な予算執行の観点からコスト削減に努めていくこととするが、令和6年度においては、Fintechやデータなどの領域でのFinTech、MaaSの推進等により結果の増加が見込まれることから、前年比1.1倍以内の増減となる予算要求を行っている。	重要政策推進枠: 31.3百万円	総合政策局	金融	(項) 金融政策費 (大事項) 金融政策推進に必要な経費	金融	新22 - 0004 -	-	-	-	-	-	-	書面点検	前年度新規						
		032	監査監督機関国際フォーラム(IFAR) 協定書	平成27年度	終了予定なし	101	101	100	○本事業の目的を達成するために、IFARとの協力と真実に関する合意(ホスト合意)に基づき、IFAR事務局のホスト国として、引き続き必要資金を供与すること。IFARの代表理事国及び議長国として、監査品質の向上に関する国際的な議論において主導的な役割を果たすこと。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	106	170	64	-	現状通り	○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。 ○本事業については、引き続き、情報提供を拡大範囲に呼びかけ、さらに必要な要求内容となるよう調査すること。	重要政策推進枠: 73百万円	総合政策局	金融	(項) 金融共済費 (大事項) 国際会議等に必要な経費	金融	21 - 0026 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和4年度				

政策	施策	事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	令和4年度補正後予算額	令和4年度		外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	令和5年度当初予算額	令和6年度要率額	差引き B-A=C	反映額	反映状況		備考	担当部局庁	会計区分	項・事項	令和4年度レビューシート番号				令和5年度外部有識者点検対象	令和5年度外部有識者点検理由	直近の外部有識者点検実施年度	委託調査実施等	基金		
							執行可能額	執行額							評価結果	所見の概要					反映内容	1つ目	2つ目	3つ目						3つを超える箇所	
		033	国際機関分担金 (IOSO)	平成10年度	終了予定なし	12	12	12		現状通り	14	15	1	-	現状通り	○事業目的を実現するため、令和6年度予算要求においては、為替レート等の変更に伴い、前年度比100万円の増額となる予算要求を行うとともに、我が国が重要を牽引し続ける立場を確保できるように、引き続き、国際的な議論に積極的に参加していく。 ○資金使途については、感染症の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。		総合政策局	〃	(項) 金融共通費 (大事項) 国際会議等に必要経費	金融	21 - 0027 -	-	-	-	-			令和2年度		
		034	国際機関分担金 (IAIS)	平成10年度	終了予定なし	22	22	22		現状通り	27	37	10	-	現状通り	○本経費については、効率的な予算執行の観点から、コスト削減に努めていくこととするが、令和6年度においては、IAISの活動拡大や世界的なインフレ傾向を反映し、我が国が重要を牽引し続ける立場を確保できるように、引き続き、国際的な議論に積極的に参加していく。 ○資金使途については、感染症の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。		総合政策局	〃	(項) 金融共通費 (大事項) 国際会議等に必要経費	金融	21 - 0028 -	-	-	-	-			令和2年度		
		035	国際機関分担金 (FAIF)	平成13年度	終了予定なし	13	13	13		現状通り	13	20	7	-	現状通り	○事業目的を実現するため、令和6年度予算要求においては、負担金自体の増加傾向(前年比:7割)及び為替レートの変更を踏まえ、前年度比100万円の増額となる予算要求を行うとともに、我が国が重要を牽引し続ける立場を確保できるように、引き続き、国際的な議論に積極的に参加していく。 ○資金使途については、感染症の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。		総合政策局	〃	(項) 金融共通費 (大事項) 国際会議等に必要経費	金融	21 - 0029 -	-	-	-	-			令和2年度		
		036	国際機関分担金 (APG)	平成12年度	終了予定なし	7	7	6		現状通り	8	10	2	-	現状通り	○事業目的を実現するため、令和6年度予算要求においては、負担金自体の増加傾向(前年比:3割)を踏まえ、前年度比100万円の増額となる予算要求を行うとともに、我が国が重要を牽引し続ける立場を確保できるように、引き続き、国際的な議論に積極的に参加していく。 ○資金使途については、感染症の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。		総合政策局	〃	(項) 金融共通費 (大事項) 国際会議等に必要経費	金融	21 - 0030 -	-	-	-	-			令和2年度		
		037	国際機関分担金 (FinNet)	平成26年度	終了予定なし	1	1	1		現状通り	1	2	1	-	現状通り	○事業目的を実現するため、令和6年度予算要求においても、前年規模の予算要求を行うとともに、我が国が重要を牽引し続ける立場を確保できるように、引き続き、国際的な議論に積極的に参加していく。 ○資金使途については、感染症の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。		総合政策局	〃	(項) 金融共通費 (大事項) 国際会議等に必要経費	金融	21 - 0031 -	-	-	-	-			令和2年度		
		038	国際機関分担金 (IFAR)	平成27年度	終了予定なし	7	7	5		現状通り	9	9	-	-	現状通り	○IFARの代表理事職及び議長職として、監査委員の向上に関する国際的な議論において引き続き主導的な役割を果たしていく。 ○本経費については、IFARの会計報告を通じて資金使途の適切性及び有効性を確認し、適切な場合にはIFARにより効率的かつ効果的な議論を求めていくこととしつつ、令和6年度においては、前年規模の予算要求を行っている。		総合政策局	〃	(項) 金融共通費 (大事項) 国際会議等に必要経費	金融	21 - 0032 -	-	-	-	-			令和2年度		
行政事業レビュー対象 計										一般合計	1,209	1,444	235																		
行政事業レビュー対象外 計										一般合計	21,985	23,811	1,826																		
合 計										一般合計	23,194	25,255	2,061																		

注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。
 注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移用額、予備費等を扣除した計数である。
 注3. 「行政事業レビュー推進チームの所見」の「評価結果」欄の各半段の考え方はそれぞれ次のとおりである。
 「廃止」:「事業目的に重大な問題がある」、「地方自治体や民間等に変わるべき」、「効果が望めない事業内容や実施方法となっている」などの状況にあり、事業の存続自体に問題があると考えられる場合
 「事業全体の抜本的な改善」:事業の存続自体を問題とするまでには至らないが、事業全体として「事業内容が事業目的の達成手段として有効でない」、「資金が効率的に使われていない」、「効果が薄い」など、十分に効果的・効率的な事業となっておらず、事業内容を大幅かつ抜本的に見直しを必要とする場合
 「事業内容の一部改善」:より効果的・効率的な事業とするため、事業の中の一部のメニューの改善、事業実施方法や執行方法の一部の改善等によって、事業内容の一部を改善すべきと考えられる場合
 「終了予定」:令和4年度終了事業や令和5年度終了予定事業など令和5年度のレビューを実施する前に令和6年度予算編成要求を行わないことが決まっていた事業
 注4. 「反映内容」欄の各半段の考え方は、次のとおりである。
 「廃止」:令和5年度の点検の結果、事業を廃止し令和6年度予算編成要求において予算要求を行わないもの(前年度終了事業等は含まない。)
 「縮減」:令和5年度の点検の結果、見直しが行われ令和6年度予算編成要求において何らかの削減を行うもの(事業の見直しを行い、部分的に予算の削減を行うもの、事業全体としては編成要求額が増加する場合も含む。)
 「執行等改善」:令和5年度の点検の結果、令和6年度予算編成要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの(編成要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。)
 「年度内に改善を検討」:令和5年度の点検の結果、令和6年度予算編成要求の金額に反映は行わないものの、令和4年度末までに執行等の改善を検討しているもの(編成要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。)
 「予定通り終了」:前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し令和6年度予算編成要求において予算要求しないもの。
 「現状通り」:令和5年度の点検の結果、令和6年度予算編成要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの(廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの)
 注5. 予備費を使用した場合は「備考」欄にその旨を記載するとともに、金額と支出が決定した開議決定日を記載すること。